

KOCHI 2015 ROTARY 2016 CLUB SINCE 1937



世界への
プレゼントになろう
2015-16年度 RIテーマ

週報



Weekly report 第3252回 2016年3月8日 2016年3月15日発行

● 会長挨拶



皆さん、こんにちは。ここ2、3日20℃以上まで気温が上がり、汗ばむ気候となりました。

先週の3月3日(木)には、第26回地球33番地記念式典が開催されました。当日は、昭和小学校と江陽小学校の3年生約100名も参加して、環境標語を発表してくれました。ご出席いただいた会員の

皆さまにはお礼申し上げます。

5日(火)は、「ロータリーのおもてなしと親睦を語ろう」をテーマにIMが開催されました。当クラブからは、親睦委員会の武樋泰臣会員が発表をしました。昨年行われたホームカミングナイトや今年度行われている親睦委員会と各委員会との交流等々、スライドを織り交ぜての素晴らしい発表でした。厳しい指導のもと、随分と予行演習をされたとお聞きしましたが、本当にありがとうございました。当日は「土佐のおきやく」のオープニングと重なり、お忙しい会員も多かったと思いますが、ご出席くださった会員の皆さま、ありがとうございました。

さて、3月は「水と衛生月間」です。ロータリーソングでも童謡の「春の小川」が歌われることがあります。日本中をこの歌の歌詞のような小川にしたいとって活動された方が、高知におられました。環境に配慮した改修技術で河川を再生させる「川の外科医」と言われた西日本科学技術研究所

の代表取締役であった福留脩文さんです。福留さんは残念ながら数年前にもうお亡くなりになりましたが、私は西山俊彦会員からご紹介いただきました。

福留さんは、大学卒業後、家業の建設会社を経て1974年、環境コンサルタント会社を設立。1986年にスイスを訪ねた際、コンクリート使用を極力避ける護岸技術「近自然工法」を知り国内に導入。同工法は、自然石を組み周囲に植樹することで景観を保ちつつ、構造物の強度を確保、水流の力を利用して、瀬や淵、砂州を形成・維持するため生態系にも優しいものです。当時の河川改修は、川底と兩岸を全てコンクリートで埋める「3面張り」が主なやり方だったそうですが、福留さんは全国で「近自然工法」の実践例を重ね、河川改修の第一人者と言われるまでになり、現在は、国の河川改修でもこの工法が採用されています。皆さんも、もしこのような川に出会ったら、今日の話思い出していただければ幸いです。

本日は会員スピーチで、「こどもの成長のスポーツ」と題して、林田義久会員のお話を伺います。



■本日のプログラム [3月15日]

ゲストスピーチ

公益財団法人 高知県身体障害者連合会
別府 あかね 氏

「『ロービジョン』のこと知っていますか？」

会 長	野 村 茂
副 会 長	川 添 昇
幹 事	小 笠 原 晃 男
副 幹 事	伊 丹 由 美
会報責任者	鎮 西 正 一 郎

● ロータリーソング「四つのテスト」

● 幹事報告

I M出席へのお礼状が届いています。



● 次期幹事より

4月17日(日)に開催される地区協議会の参加対象者は、次期会長と、指定されている委員会の委員長、地区委員です。土本会員、中澤陽一会員のご好意により、両社の駐車場が利用できます。ジャンボタクシーは高知駅7時40分発、和建設を回って高松へ向かいます。





● 新会員スピーチ

こどもの成長とスポーツ

高知太平洋鋳業株式会社 代表取締役社長 林田 義久 氏

平成10年、秩父小野田と日本セメントが合併して、現在の太平洋セメントになりました。私の最初の赴任地は孕にあった土佐工場でしたので、30数年ぶりに高知に戻ってきました。



私は今まで15回ほど転勤をしています。一番長いのが新潟県の糸魚川で6年半ほどいました。糸魚川へは初めての単身赴任でしたので、休みの日はなるべく家族のところへ帰ろうと、好きだったサッカーもあきらめていました。ところが、たまたま地元の飲み友達がサッカーチームを創りたい。糸魚川は野球をする子はいるけどサッカーをする子がいない。自分の子どもが小さいうちにサッカーができる環境をつくりたいということで、私が協力することになりました。

私とサッカーの、最初のかかわりは大学時代です。就職して高知に赴任した後も、昭和クラブというサッカーチームに入りました。最初は下部リーグでしたが、1981、82年からは四国リーグに入ることができて、日曜になると朝5時集合、車を乗り合わせて高松、松山、徳島と遠征、仕事より週末の方がハードな生活を続けていました。4年後、インドネシアに転勤、現地のサッカーチームに入りました。日本人は1人もいません。トラックの荷台に乗って、50キロ、100キロ先の町まで遠征に行きます。勝ったときは、自分の町が近づくと、みんなで凱歌を歌って町の人々に勝ったことを知らせます。

一度日本に帰った後、オーストラリアに赴任。ケアンズから300キロ離れたタウンズビルという町で、ここでも町のチームに入れてもらいました。もちろん日本人は私1人です。みんな背が高くて、高校生でも175から180あり、当時、私は20代後半でしたが高校生からも頭をなでられて後輩扱いでした。日本に帰ってくると、シニアチームも盛んで千葉、熊本等々に入り、私はまだジュニアでしたのでスタッフとして参画していました。

糸魚川で「ゴールデンエイジ」という言葉を習いました。一生に一度だけ訪れる即座の習得ということで、神経系統が急に成長し、完成期に当たるのが10歳から12、13歳ころだそうです。ですから、子どもの運動神経を伸ばすのに一番いい6歳から12歳を逃さずに指導してくださいということです。ただ、サッカーならサッカーだけを教えるのではなくて、反応能力、リズム化能力、バランス能力など七つの能力に着目して伸ばすと格段と運動能力が伸びます。

糸魚川で始めた子どもたちのサッカーチームは、一番後発のチームだったので、他のチームと試合してもボコボコに負けていました。それが、子どもの発育に合わせた運動能力のコーディネーション、系統だてたコーチングを繰り返すことで、他のチームとも見劣りしないようになり、4年目には上越地方16チーム中、常にベスト4、ベスト3に入る力がついてきました。2009年、全国大会につながる試合で、代表決定戦のPKで負けるというあと一歩のところまでいきました。その悔しさをバネにして子どもたちが頑張っ、秋の大会では優勝を勝ち取りました。現在は、上段のユースチームに入ったり、県大会でもベスト4に入っています。

当時、私たちはサッカーの楽しさはもちろんですが、スポーツマンシップを持ってもらいたい。みんなで一つの競技に参加することで、集団行動が分かる、人のことが分かるといったことを身に付けてもらいたいと同時に個人個人が成長して欲しい。そして、競技だけでなく、遊びでも学校でも社会生活でもフェアプレイを身に付けてもらいたい。弱い人がいたら手をさしのべることも大事だといったようなことを、合宿やオフの時間も使って、子どもたちだけではなく、保護者たちにも話しかけてきました。こうして、少しずつ地域になじんできて、毎年の夏の合宿にはお父さんやお母さん、中学や高校になった卒団生も来てくれています。

私が糸魚川を離れるときには、子どもたちが寄せ書きにサッカーをやめないで、続けてくださいと書いてくれました。そのとき、私は52、53歳で、もうサッカーはやめたいと思っていたのですが、子どもにやめないでくれと言われたらやめるわけにはいきません。現在、高知でもシニアサッカーを続けています。今は本当に、サッカーをやっている良かったと思っています。



◇ 例 会 変 更 ◇

高知南RC	3月24日	花見例会(阪)	高知中央RC	3月24日	花見夜間例会(城)
高知北RC	3月28日	花見夜間例会(三)	高知RC	3月29日	ロータリー休日(三)
高知ロイヤルRC	3月29日	ロータリー休日(旭)	高知南RC	3月31日	植樹例会(阪)
高知中央RC	3月31日	ロータリー休日(城)	高知ロイヤルRC	4月5日	夜間例会(旭)
高知東RC	4月6日	時間変更例会(阪)	高知南RC	4月7日→5日	夜間例会(阪)
高知東RC	4月13日	ロータリー休日(阪)	高知中央RC	4月14日	ロータリー休日(城)
高知中央RC	4月21日	職場例会(城)	高知西RC	4月22日→28日	合同夜間例会(三)
高知北RC	4月25日	ロータリー休日(三)	高知ロイヤルRC	4月26日→28日	合同夜間例会(旭)
高知RC	4月26日→28日	合同夜間例会(三)	高知東RC	4月27日→28日	合同夜間例会(阪)
高知南RC	4月28日	合同夜間例会(阪)	高知中央RC	4月28日	合同夜間例会(城)

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

 **ニコニコ箱**

- 鎮西正一郎 私のチョンボで2月16日週報のオフィス熱気球、伊藤さんのコーナーを新会員スピーチとしてしまいました。正しくは「ゲストスピーチ」です。泣きながらニコニコします。
- 美馬 幹晃 今月26日、ダイヤ改正です。お手元にポケット時刻表をお配りしています。ご活用いただけましたら幸いです。
- 入交 章二 「首から変な名札さげてるね!」と細田さんに声をかけていただきました。インフルエンザがはやっています。「空間除菌」ができるというし、800円で1ヶ月間効果が持続するというので、今日から首にかけてみました。
- 武樋 泰臣 中澤清一会員の「四国管財」様が、第6回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞を受賞されました。本当におめでとうございました!これからはますます視察や講演が増えますね。今後もいろいろご指導のほどよろしく願いいたします。おめでとうございます! 先日のIMでは、当クラブを代表して発表という大役を仰せつかり、数日前から緊張しっぱなしでした。皆さまの温かい応援で何とか終わることができましたが、その夜は解放感でマッコリを飲み過ぎて記憶がありません。貴重な機会を与您いただき感謝のニコニコをいたします。
- 中田 由季 武樋会員、IMの発表お疲れ様でした。発表者の皆さまの内容は素晴らしく、特に武樋会員の発表は何カ月も考えた内容だけに、ずば抜けて素晴らしかったです。1点気になったのが、誰のことか分かりませんが「キビしく、キビしく、キビしく」の3連発。1回ぐらい「優しく」の言葉も欲しかった(涙)
- 古谷 純代 1日のN響演奏会は大変素晴らしく、友人と大感激しました。リオネル・ブランチ氏の力強い指揮、日独ハーフ、アラベラ美歩氏のバイオリンは聴衆に最高の感動を与えたと思います。高知公演にご尽力いただいた熊野局長ありがとうございます。「天は二物を与えず」のことわざをアラベラさんが覆すにふさわしく、余りの美しさに見とれておりました。

◇ 出 席 率 ◇

	総数	出席	欠席	メークアップ	出席率
3月8日	(-9)90	53	20	8	75.31
2月23日	(-7)90	53	9	21	89.16

● 累計額 [3月8日現在]

ニコニコ箱	903,000円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	228,020円	ポリオ募金	288,400円
-------	----------	--------------------------------	----------	-------	----------

■ 次週のプログラム [3月22日]

ゲストスピーチ
 司牡丹酒造(株) 代表取締役社長
 竹村 昭彦氏
 「なぜ土佐人は酒好きなのか?」
 ~土佐の食・酒・人・宴~

創 立 昭和12年10月
 例 会 日 火曜日 12:30~13:30
 例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
 事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階
 TEL(824)8660 FAX(824)2529
 E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp
 HPアドレス http://www.221.ne.jp/kochirc/